

法律学科

4年間のカリキュラム

1年次は入門科目を配置。2年次以降に専門的な法律科目を学ぶカリキュラムを構成しています。

専攻科目	導入科目	法律学の基礎 刑事法入門 国際関係法入門 統・法律学の基礎 民法入門 手続法入門					
	基本法律科目	憲法Ⅰ(総論・統治機構) 憲法Ⅱ(基本的人権) 司法制度論 行政法総論	行政救済法 刑法Ⅰ(総論) 刑法Ⅱ(各論) 刑事手続法(刑事訴訟法)	刑事政策 民法(総則) 民法(物権) 民法(債権総論)	民法(契約法) 民法(親族・相続) 民法(不法行為等) 会社法Ⅰ(企業組織法)	会社法Ⅱ(企業金融法) 民法(親族・相続) 民事手続法Ⅰ(判決手続) 国際法Ⅰ(企業組織法)	法哲学Ⅱ 法制史 法社会学 法哲学Ⅰ
	発展法律科目	個別的労使関係法 団体的労使関係法 経済法 社会保障法	地方自治法 租税法 租税手続法 企業取引法Ⅰ(商法総則)	企業取引法Ⅱ(商取引法) 企業取引法Ⅲ(保険法・海商法) 金融法Ⅰ(企業決算法) 金融法Ⅱ(金融商品取引法)	民事手続法Ⅱ(民事執行・保全法) 民事手続法Ⅲ(倒産処理法) 少年法 知的財産法(概論)	知的財産法(応用) 国際法Ⅱ 国際関係私法概論 国際私法Ⅰ(総論・家族法)	国際私法Ⅱ(財産法) 国際取引法 国際民事手続法 特別刑法
	国際関係法・政治学科目	国際人権法 国際環境法 海洋法 外国法Ⅰ 外国法Ⅱ	外国法Ⅲ 外国法Ⅳ 外国法Ⅴ 外国法Ⅵ 国際組織法	地域共同法 国際経済法 国際紛争解決法 国際政治経済論 模擬国際裁判 平和研究	政治学原論 政治史 日本政治論 比較政治学 国際政治経済論 地域研究Ⅰ(アジア太平洋) 地域研究Ⅱ(アメリカ)	政治思想史 政治学 行政学 地方自治論	国際協力論 国際開発論 国際取引法発展
	専門語学科目	英書講読Ⅰ～Ⅳ 専門外国語ⅠA(ドイツ) 専門外国語ⅠB(ドイツ) 専門外国語ⅡA(フランス) 専門外国語ⅡB(フランス) 専門外国語ⅢA(ロシア) 専門外国語ⅢB(ロシア) 専門外国語ⅣA(中国) 専門外国語ⅣB(中国) 専門外国語ⅤA(韓国) 専門外国語ⅤB(韓国)					
演習・実務関連科目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>◎基礎演習 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅳ 専門演習Ⅱ 弁護士実務からみた法学</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>▲応用法律学(法的思考の基礎) ▲応用法律学(憲法) ▲応用法律学(行政法) ▲応用法律学(刑法)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>▲応用法律学(刑事訴訟法) ▲応用法律学(民法) ▲応用法律学(商法) ▲応用法律学(民事訴訟法)</p> </div> </div>						
関連科目	「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」などの経済学部科目、「経営学」や「会計学」などの商学部科目に限らず、その他の学部学科の専攻科目から数多くの科目を選択できます。						

※その他、共通科目があります。P.36～37参照

◎：必修 ▲：法務コース登録学生のみ履修可

ZOOM IN カリキュラム

基礎演習

法学部の専攻科目で唯一の「必修科目」。ゼミ形式で、「西南式ディベート」を用いながら、法律学の思考方法と表現方法の基本を無理なく学ぶことができます。最終回は、各ゼミ対抗の「ディベート大会」で盛り上がります。西南学院大学法学部の教員有志で執筆した『法学部ゼミガイドブック』(法律文化社)があなたをサポートします。

応用法律学

法科大学院や大学院への進学、法曹・公務員を目指す法務コース所属の学生を対象に、公法・刑事法・民事法の各分野の教員が担当する少人数開講の科目。判例や具体的設例を用いて、実際に起案(論述)をすることによって、法律が適用される実践的場面における法的思考および法的知識の深化を目指します。

TOPIC

SA(スチューデント・アシスタント)を活用した学修支援、就活支援を実施

高校生から大学生へ、そして法学部生へと導くための「法学部生入門ゼミ」を開講。上級生のSA(スチューデント・アシスタント)がバックアップ。また「法律学の基礎」「統・法律学の基礎」の課題を、添削アドバイスしたり、憲法・民法・刑法・国際法など法律科目の自主勉強会をサポートします。3年生の後期になると、就職活動に向けて、社会人講師による文章作成能力やコミュニケーション能力養成などの講座を開催。ここでは内定を獲得した4年生がSAとしてサポートしています。



教員紹介

- 有田 謙司 教授【労働法(特に労働契約、雇用保障法)】
- 福永 俊輔 教授【刑法、刑事訴訟法(共犯論、共謀共同正犯をめぐる手続上の問題)】
- 平井 佐和子 教授【刑法、刑事政策(特に女性・子どもをめぐる刑事法的対応について)】
- 小林 博志 教授【行政法(行政組織法、行政紛争の解決の方法)】
- 小山 雅亀 教授【刑法、刑事訴訟法(特に検察制度論、刑事法律扶助制度論)】
- 倉見 智亮 教授【税法(特に所得課税の基礎理論について)】
- 宮崎 幹朗 教授【民法(家族法)】
- 毛利 康俊 教授【法哲学(特に社会システム論に基づいた議論)】
- 村山 淳子 教授【民法、医事法、特に医師と患者の法的関係の解明】
- 奈須 祐治 教授【憲法(特に表現の自由論)】
- 奥 博司 教授【司法制度と社会の関係に関する基礎的考察および民事手続法の解釈論】
- 齊藤 芳浩 教授【憲法(特に憲法の法源論、憲法解釈論)】
- 勢一 智子 教授【行政法、環境法、環境分野における学際的研究】
- 田中 英司 教授【民法(財産法、特に不動産利用権、不動産所有権に関する法的問題)】
- 藤林 大地 准教授【商法(会社法、金融商品取引法)】
- 原 謙一 准教授【民法(財産法、特に権利の担保化)】
- 前田 敦 准教授【民法(財産法、特に契約法)】
- 中野 万葉子 准教授【法制史(近世ヨーロッパの私法概論、自然法論)】
- 田中 慎一 准教授【商法(会社法、特に取締役の責任)】
- 山田 恵子 准教授【法社会学】
- 山田 憲一 准教授【知的財産法】

主なゼミテーマ

- 税法・財政法とプレゼンテーション
- 司法制度を「文献」「データ」「観察」から法社会学的に学ぶ
- 具体的事件から行政法を理解する
- 医事法初級編
- 現代労働法の諸問題
- これからの日本の法政策を法哲学的に考える
- 刑事法学の総合的検討

PICK UP (ゼミの学び)

ゼミテーマ | 民法ディベート演習

原 謙一 准教授

ディベート形式で民法を実践的に学び、法的知識・コミュニケーション力を養う。

このゼミでは民法を研究対象とし、民事法の基本問題の理解と口頭表現についてディベート形式で学びます。学生は1つのテーマに対して司会・原告・被告・ジャッジ・オーディエンスに分かれ、全員がそれぞれの立場で主張や質疑応答を行い、最終的にジャッジが採点を行います。難解な法的概念を理解し、それを文章化し、さらに口頭で適切に表現するプレゼンテーション力を鍛えます。また、異なる立場の他者から理解と共感を得る方法を実践的に学び、コミュニケーション力を養います。ここで得た知識やスキルは、将来、他者と対話しながら難局を乗り越える力として生かされるはずです。

STUDENT'S VOICE

ゼミでのグループ活動で、積極的な姿勢や協調性が身に付きました。

牧 綾菜 法学部法律学科 4年
(福岡県・福岡県立嘉穂高等学校出身)

高校の教科書に載っていたある判例を読んだことがきっかけで、私たちの生活と切っても切り離せない法律について深く学びたいと考え進学を決めました。ゼミでは、グループに分かれて会社法の判例を分析し、発表する活動をしています。法律の知識や理解が深まるだけでなく、協調性や積極性、リーダーシップが身に付きました。また法学部にはStudent Assistantという制度があり、先輩にマンツーマンで課題の添削や相談をすることができ、少人数のクラスでは民法や憲法について教えてもらえる勉強会なども実施しており、積極的に活用しました。今では自分が教える立場となり、課題添削を中心に後輩へのアドバイスを行っています。